

IV. クロス集計の結果

これまでの保護者調査と子ども調査の結果を踏まえ、子どもを取り巻く環境が、子どもの学力や健康、思考などにどのような影響を与えるのか検証するため、質問項目をクロス集計しました。

1. 世帯区分2のうち、ひとり親世帯の割合

保護者：収入階層
保護者：家族形態

ひとり親世帯のうち35%以上が世帯区分2となっており、非ひとり親世帯に比べて世帯区分2の割合が高い。

	小学5年生の保護者				中学2年生の保護者					
	サンプル数	円(100万円以上)	円(100万円未満)	世帯区分2	無回答	サンプル数	円(100万円以上)	円(100万円未満)	世帯区分2	無回答
上段：構成比% 下段：件数		.158万	.258万			.158万	.258万			
全体	100.0 8,779	78.7 6,905	10.9 960	10.4 914	100.0 7,943	78.5 6,238	10.9 864	10.6 841		
家族形態	ひとり親世帯	100.0 1,522	52.1 793	35.9 547	12.0 182	100.0 1,469	51.9 763	35.5 522	12.5 184	
	非ひとり親世帯	100.0 7,257	84.2 6,112	5.7 413	10.1 732	100.0 6,474	84.6 5,475	5.3 342	10.1 657	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 社会的経験の有無と子の意欲の関係

子ども問 29：あなたは、将来の夢・希望や目標を持っていますか。
 子ども問 18：あなたは、家族と次のようなことをどのくらいしますか。
 (⑧図書館や美術館、映画館、コンサート等に行く)

世帯の収入に関係なく、家族と一緒に図書館や美術館・映画館・コンサート等に週1回以上行く子どもは、ほとんどしない又は全くしない子どもに比べ、将来の夢・希望や目標を「持っている」と答えた割合が高い。

	小学5年生					中学2年生					
	サンプル数	持っている	持っている	わからない	無回答	サンプル数	持っている	持っている	わからない	無回答	
全体	100.0 9,139	76.3 6,975	8.8 801	11.9 1,084	3.1 279	100.0 8,405	59.9 5,032	17.0 1,431	21.2 1,785	1.9 157	
⑧ 図書館や美術館、映画館、コンサート等の経験の有無	世帯区分1	100.0 6,905	77.0 5,317	8.8 605	11.5 794	2.7 189	100.0 6,238	59.9 3,739	16.8 1,047	21.3 1,331	1.9 121
	1週間に1日以上	100.0 1,698	82.6 1,402	5.8 98	8.4 142	3.3 56	100.0 1,137	65.4 744	12.7 144	19.5 222	2.4 27
	ほとんど・全くしない	100.0 5,073	75.3 3,819	9.8 496	12.6 640	2.3 118	100.0 5,043	58.8 2,966	17.7 895	21.8 1,097	1.7 85
	ほとんどしない	100.0 4,054	76.8 3,114	8.8 355	12.2 493	2.3 92	100.0 3,687	59.9 2,207	16.6 611	22.0 810	1.6 59
	全くしない	100.0 1,019	69.2 705	13.8 141	14.4 147	2.6 26	100.0 1,356	56.0 759	20.9 284	21.2 287	1.9 26
	無回答	100.0 134	71.6 96	8.2 11	9.0 12	11.2 15	100.0 58	50.0 29	13.8 8	20.7 12	15.5 9
	世帯区分2	100.0 960	74.3 713	10.0 96	12.6 121	3.1 30	100.0 864	61.1 528	17.0 147	20.3 175	1.6 14
	1週間に1日以上	100.0 226	79.6 180	5.8 13	10.2 23	4.4 10	100.0 149	69.1 103	13.4 20	16.1 24	1.3 2
	ほとんど・全くしない	100.0 705	72.3 510	11.3 80	13.8 97	2.6 18	100.0 707	59.5 421	17.8 126	21.2 150	1.4 10
	ほとんどしない	100.0 504	73.0 368	10.9 55	13.3 67	2.8 14	100.0 472	61.9 292	15.3 72	21.4 101	1.5 7
	全くしない	100.0 201	70.6 142	12.4 25	14.9 30	2.0 4	100.0 235	54.9 129	23.0 54	20.9 49	1.3 3
	無回答	100.0 29	79.3 23	10.3 3	3.4 1	6.9 2	100.0 8	50.0 4	12.5 1	12.5 1	25.0 2
無回答	100.0 1,274	74.2 945	7.8 100	13.3 169	4.7 60	100.0 1,303	58.7 765	18.2 237	21.4 279	1.7 22	

子ども問 29：あなたは、将来の夢・希望や目標を持っていますか。
 子ども問 18：あなたは、家族と次のようなことをどのくらいしますか。
 (㊟一緒に外出(買い物、外食など)をする)

世帯の年収に関係がなく、家族と一緒に週1 日以上外出(買い物、外出など) をする子どもは、全くしない子どもに比べ、「将来の夢・希望や目標を持っている」と回答した割合が多い。

	小学5年生					中学2年生					
	サンプル数	持っている	持っていない	わからない	無回答	サンプル数	持っている	持っていない	わからない	無回答	
全体	100.0 9,139	76.3 6,975	8.8 801	11.9 1,084	3.1 279	100.0 8,405	59.9 5,032	17.0 1,431	21.2 1,785	1.9 157	
㊟一緒に外出する経験の有無	世帯区分1	100.0 6,905	77.0 5,317	8.8 605	11.5 794	2.7 189	100.0 6,238	59.9 3,739	16.8 1,047	21.3 1,331	1.9 121
	1週間に1日以上	100.0 5,955	77.8 4,635	8.4 501	11.3 670	2.5 149	100.0 4,868	62.1 3,025	15.7 764	20.5 999	1.6 80
	ほとんど・全くしない	100.0 847	71.7 607	11.6 98	13.8 117	3.0 25	100.0 1,321	52.6 695	20.4 270	24.5 324	2.4 32
	ほとんどしない	100.0 764	72.0 550	11.1 85	14.3 109	2.6 20	100.0 1,189	53.7 638	19.4 231	24.8 295	2.1 25
	全くしない	100.0 83	68.7 57	15.7 13	9.6 8	6.0 5	100.0 132	43.2 57	29.5 39	22.0 29	5.3 7
	無回答	100.0 103	72.8 75	5.8 6	6.8 7	14.6 15	100.0 49	38.8 19	26.5 13	16.3 8	18.4 9
	世帯区分2	100.0 960	74.3 713	10.0 96	12.6 121	3.1 30	100.0 864	61.1 528	17.0 147	20.3 175	1.6 14
	1週間に1日以上	100.0 829	73.8 612	10.0 83	13.0 108	3.1 26	100.0 646	63.5 410	16.1 104	19.0 123	1.4 9
	ほとんど・全くしない	100.0 115	77.4 89	10.4 12	10.4 12	1.7 2	100.0 210	53.8 113	20.5 43	24.3 51	1.4 3
	ほとんどしない	100.0 101	80.2 81	8.9 9	8.9 9	2.0 2	100.0 182	54.9 100	18.7 34	24.7 45	1.6 3
	全くしない	100.0 14	57.1 8	21.4 3	21.4 3	- -	100.0 28	46.4 13	32.1 9	21.4 6	- -
	無回答	100.0 16	75.0 12	6.3 1	6.3 1	12.5 2	100.0 8	62.5 5	- -	12.5 1	25.0 2
	無回答	100.0 1,274	74.2 945	7.8 100	13.3 169	4.7 60	100.0 1,303	58.7 765	18.2 237	21.4 279	1.7 22

子ども問 26：あなたは、学校は楽しいと思いますか。

子ども問 18：あなたは、家族と次のようなことをどのくらいしますか。

家族と一緒に週1 日以上外出（買い物、外食など）をする子どもは、ほとんどしない又は全くしない子どもに比べ、世帯の年収に関係がなく、「学校はとても楽しい」と回答した割合が多い。

	小学5年生							中学2年生							
	サンプル数	とても楽しい	少しは楽しい	あまり楽しくない	全く楽しくない	わからない	無回答	サンプル数	とても楽しい	少しは楽しい	あまり楽しくない	全く楽しくない	わからない	無回答	
全体	100.0 9,139	47.1 4,305	33.6 3,068	10.0 916	3.4 307	2.8 256	3.1 287	100.0 8,405	48.7 4,096	33.2 2,789	9.8 825	2.8 232	3.7 309	1.8 154	
⑨ 一緒に外出する経験の有無	世帯区分1	100.0 6,905	48.2 3,331	33.6 2,317	9.8 676	3.0 206	2.6 179	2.8 196	100.0 6,238	49.8 3,107	33.2 2,071	9.3 582	2.5 156	3.2 202	1.9 120
	1週間に1日以上	100.0 5,955	49.7 2,958	33.4 1,990	9.3 554	2.7 161	2.3 139	2.6 153	100.0 4,868	52.0 2,531	32.9 1,600	8.7 422	1.8 90	3.0 146	1.6 79
	ほとんど・全くしない	100.0 847	38.4 325	35.4 300	13.7 116	5.1 43	4.1 35	3.3 28	100.0 1,321	42.1 556	34.6 457	11.9 157	5.0 66	4.1 54	2.3 31
	ほとんどしない	100.0 764	38.7 296	35.1 268	13.9 106	5.1 39	4.1 31	3.1 24	100.0 1,189	43.3 515	35.0 416	11.8 140	4.0 47	4.0 47	2.0 24
	全くしない	100.0 83	34.9 29	38.6 32	12.0 10	4.8 4	4.8 4	4.8 4	100.0 132	31.1 41	31.1 41	12.9 17	14.4 19	5.3 7	5.3 7
	無回答	100.0 103	46.6 48	26.2 27	5.8 6	1.9 2	4.9 5	14.6 15	100.0 49	40.8 20	28.6 14	6.1 3	- -	4.1 2	20.4 10
	世帯区分2	100.0 960	44.2 424	34.0 326	10.6 102	5.0 48	2.9 28	3.3 32	100.0 864	46.3 400	32.8 283	10.2 88	3.5 30	5.7 49	1.6 14
	1週間に1日以上	100.0 829	46.2 383	33.9 281	10.5 87	3.4 28	2.7 22	3.4 28	100.0 646	46.6 301	33.9 219	9.8 63	3.3 21	5.1 33	1.4 9
	ほとんど・全くしない	100.0 115	33.0 38	33.0 38	13.0 15	13.9 16	5.2 6	1.7 2	100.0 210	45.7 96	29.0 61	11.9 25	4.3 9	7.6 16	1.4 3
	ほとんどしない	100.0 101	32.7 33	34.7 35	12.9 13	12.9 13	5.0 5	2.0 2	100.0 182	45.6 83	29.1 53	12.1 22	3.8 7	7.7 14	1.6 3
	全くしない	100.0 14	35.7 5	21.4 3	14.3 2	21.4 3	7.1 1	- -	100.0 28	46.4 13	28.6 8	10.7 3	7.1 2	7.1 2	- -
	無回答	100.0 16	18.8 3	43.8 7	- -	25.0 4	- -	12.5 2	100.0 8	37.5 3	37.5 3	- -	- -	- -	25.0 2
無回答	100.0 1,274	43.2 550	33.4 425	10.8 138	4.2 53	3.8 49	4.6 59	100.0 1,303	45.2 589	33.4 435	11.9 155	3.5 46	4.5 58	1.5 20	

3. 保護者の15歳の頃の暮らし向きと生活保護の利用経験

保護者問 29：あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いもの1つに○をつけてください。

保護者問 30：あなたが15歳の頃に、あなたのご家庭は生活保護を受けていましたか。

生活保護を利用している・利用したことがある家庭の保護者は、制度を利用したことがない家庭の保護者に比べ、保護者が15歳の頃の家庭の暮らし向きが「とても苦しかった」と答えた割合が高い。

	小学5年生の保護者							中学2年生の保護者							
	サンプル数	とてもゆとりがあった	少しゆとりがあった	ふつう	少し苦しかった	とても苦しかった	無回答	サンプル数	とてもゆとりがあった	少しゆとりがあった	ふつう	少し苦しかった	とても苦しかった	無回答	
全体	100.0 8,779	10.6 927	17.1 1,504	41.2 3,618	20.6 1,806	8.4 741	2.1 183	100.0 7,943	10.5 831	17.0 1,353	41.2 3,270	20.5 1,632	8.7 695	2.0 162	
④ 生活保護の有無	利用している・利用したことがある	100.0 92	6.5 6	9.8 9	26.1 24	30.4 28	23.9 22	3.3 3	100.0 105	8.6 9	9.5 10	38.1 40	17.1 18	24.8 26	1.9 2
	利用したことはないが知っている	100.0 7,707	10.4 804	17.2 1,328	41.8 3,222	20.7 1,594	8.1 625	1.7 134	100.0 6,883	10.6 729	17.3 1,190	41.5 2,856	20.4 1,404	8.5 586	1.7 118
	制度を知らない	100.0 340	14.4 49	16.5 56	37.9 129	18.5 63	11.2 38	1.5 5	100.0 256	12.1 31	18.8 48	33.6 86	25.4 65	9.0 23	1.2 3
	無回答	100.0 640	10.6 68	17.3 111	38.0 243	18.9 121	8.8 56	6.4 41	100.0 699	8.9 62	15.0 105	41.2 288	20.7 145	8.6 60	5.6 39

4. 希望する子どもの将来の最終学歴と保護者の15歳の頃の暮らし向きの関係

保護者問 27：お子さんに将来どの学校まで進学することを希望しますか。
 保護者問 29：あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いもの1つに○をつけてください。

保護者の15歳の頃の暮らしが「とても苦しかった・少し苦しかった」と答えた保護者は、「とてもゆとりがあった・少しゆとりがあった・ふつう」と答えた保護者に比べ、子どもの将来の最終学歴を「高等学校」とする希望する割合が高く、特に世帯区分2ではその割合が高い。

	小学5年生の保護者									中学2年生の保護者									
	サンプル数	中学校	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	その他	無回答	サンプル数	中学校	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	その他	無回答	
全体	100.0 8,779	0.4 31	21.1 1,853	15.7 1,382	5.1 447	49.5 4,345	1.4 127	2.2 194	4.6 400	100.0 7,943	0.2 19	25.5 2,023	14.8 1,178	4.9 386	47.2 3,746	1.6 130	1.7 134	4.1 327	
保護者の15歳の頃のご家庭の暮らし向き	世帯区分1	100.0 6,905	0.2 17	18.4 1,270	15.4 1,064	5.1 350	53.1 3,664	1.5 106	2.1 147	4.2 287	100.0 6,238	0.2 12	22.4 1,396	14.7 914	5.1 316	50.8 3,167	1.7 106	1.6 97	3.7 230
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0 4,815	0.2 12	17.7 853	15.5 745	4.7 226	55.8 2,688	1.5 71	2.1 103	2.4 117	100.0 4,329	0.1 6	21.0 910	14.3 619	5.5 240	53.5 2,318	1.8 80	1.6 70	2.0 86
	苦しかった 計	100.0 1,967	0.3 5	21.0 414	16.2 319	6.2 121	49.3 970	1.8 35	2.2 44	3.0 59	100.0 1,799	0.3 6	26.8 482	16.2 292	4.0 72	47.1 847	1.4 26	1.4 26	2.7 48
	少し苦しかった	100.0 1,419	0.4 5	21.1 299	15.8 224	6.0 85	50.2 713	1.7 24	2.1 30	2.7 39	100.0 1,292	0.1 1	24.2 313	16.4 212	3.9 50	50.2 649	1.3 17	1.2 16	2.6 34
	とても苦しかった	100.0 548	-	21.0 115	17.3 95	6.6 36	46.9 257	2.0 11	2.6 14	3.6 20	100.0 507	1.0 5	33.3 169	15.8 80	4.3 22	39.1 198	1.8 9	2.0 10	2.8 14
	無回答	100.0 123	-	2.4 3	-	2.4 3	4.9 6	-	-	90.2 111	100.0 110	-	3.6 4	2.7 3	3.6 4	1.8 2	-	0.9 1	87.3 96
	世帯区分2	100.0 960	0.9 9	39.2 376	18.4 177	4.8 46	28.3 272	1.4 13	2.4 23	4.6 44	100.0 864	0.7 6	45.9 397	18.1 156	4.3 37	23.6 204	1.4 12	2.0 17	4.1 35
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0 609	1.3 8	37.6 229	17.4 106	4.8 29	31.7 193	1.3 8	3.0 18	3.0 18	100.0 540	0.6 3	45.7 247	18.7 101	3.9 21	24.8 134	1.7 9	2.0 11	2.6 14
	苦しかった 計	100.0 334	0.3 1	42.8 143	20.7 69	5.1 17	23.7 79	1.5 5	1.5 5	4.5 15	100.0 308	1.0 3	47.7 147	17.9 55	5.2 16	22.7 70	1.0 3	1.9 6	2.6 8
	少し苦しかった	100.0 216	-	41.7 90	19.4 42	6.0 13	25.0 54	1.9 4	0.9 2	5.1 11	100.0 189	1.1 2	43.9 83	16.4 31	6.9 13	25.9 49	1.6 3	2.1 4	2.1 4
とても苦しかった	100.0 118	0.8 1	44.9 53	22.9 27	3.4 4	21.2 25	0.8 1	2.5 3	3.4 4	100.0 119	0.8 1	53.8 64	20.2 24	2.5 3	17.6 21	-	1.7 2	3.4 4	
無回答	100.0 17	-	23.5 4	11.8 2	-	-	-	-	64.7 11	100.0 16	-	18.8 3	-	-	-	-	-	81.3 13	
無回答	100.0 914	0.5 5	22.6 207	15.4 141	5.6 51	44.7 409	0.9 8	2.6 24	7.5 69	100.0 841	0.1 1	27.3 230	12.8 108	3.9 33	44.6 375	1.4 12	2.4 20	7.4 62	

5. 保護者の最終学歴と15歳の頃の暮らし向き

保護者問 28：お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。
 保護者問 29：あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて、最も近いもの1つに○をつけてください。

(1) 父親

保護者が15歳の頃のご家庭の暮らし向きが「少し苦しかった・とても苦しかった」と答えた保護者について、父親の最終学歴が大学等の高等教育機関卒業の割合が、世帯区分2 に比べ世帯区分1 は高い。

		上段：構成比% 下段：件数		サンプル数	中学校卒業	高等学校中途退	高等学校卒業	専門学校・短大中途退	専門学校・短大・専	大学中途退学	大学卒業	大学院修了	その他の教育機	わからない	答えたくない	父親はいない	無回答											
小学5年生の保護者	全体	100.0	2.1	3.0	35.0	1.5	14.3	2.7	26.4	2.9	0.5	0.5	5.0	6.1	8,779	184	262	3,076	134	1,256	236	2,316	257	44	41	441	532	
	世帯区分1	100.0	1.8	2.7	36.6	1.5	14.8	2.6	29.3	3.4	0.5	0.3	2.7	3.9	6,905	122	184	2,524	105	1,019	182	2,023	236	35	21	188	266	
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0	1.6	2.6	35.2	1.5	15.0	2.6	32.2	3.9	0.5	0.3	2.6	2.1	4,815	77	127	1,697	70	722	123	1,550	188	22	13	126	100	
	苦しかった 計	100.0	2.3	2.8	41.9	1.7	15.0	3.0	23.8	2.4	0.7	0.4	3.2	2.7	1,967	45	55	825	34	296	59	469	48	13	8	62	53	
	少し苦しかった	100.0	1.6	2.3	42.6	1.6	14.8	2.4	25.9	2.6	0.6	0.4	2.7	2.5	1,419	22	32	604	23	210	34	368	37	8	6	39	36	
	とても苦しかった	100.0	4.2	4.2	40.3	2.0	15.7	4.6	18.4	2.0	0.9	0.4	4.2	3.1	548	23	23	221	11	86	25	101	11	5	2	23	17	
	無回答	100.0	-	1.6	1.6	0.8	0.8	-	3.3	-	-	-	-	-	123	-	2	2	1	1	-	4	-	-	-	-	-	91.9
	世帯区分2	100.0	4.8	5.6	24.9	1.6	11.0	2.7	8.2	0.5	0.5	0.5	21.5	18.1	960	46	54	239	15	106	26	79	5	5	5	5	206	174
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0	5.1	5.6	25.9	0.7	11.0	2.3	9.4	0.8	0.7	0.2	21.8	16.6	609	31	34	158	4	67	14	57	5	4	1	1	133	101
	苦しかった 計	100.0	4.5	6.0	23.7	3.3	11.4	3.6	6.3	-	0.3	1.2	21.6	18.3	334	15	20	79	11	38	12	21	-	1	4	72	61	
	少し苦しかった	100.0	2.8	6.0	22.2	2.8	13.0	4.2	6.5	-	-	0.5	24.5	17.6	216	6	13	48	6	28	9	14	-	-	1	53	38	
	とても苦しかった	100.0	7.6	5.9	26.3	4.2	8.5	2.5	5.9	-	0.8	2.5	16.1	19.5	118	9	7	31	5	10	3	7	-	1	3	19	23	
	無回答	100.0	-	11.8	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-	5.9	70.6	17	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	12
	無回答	100.0	1.8	2.6	34.2	1.5	14.3	3.1	23.4	1.8	0.4	1.6	5.1	10.1	914	16	24	313	14	131	28	214	16	4	15	47	92	
中学2年生の保護者	全体	100.0	2.4	2.8	37.3	1.3	12.5	2.5	26.3	3.1	0.4	0.4	5.0	6.0	7,943	189	226	2,961	102	992	195	2,087	244	35	35	397	480	
	世帯区分1	100.0	2.0	2.6	38.2	1.3	13.3	2.5	29.2	3.5	0.5	0.2	2.7	3.9	6,238	125	160	2,385	82	827	159	1,824	221	32	14	168	241	
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0	1.6	2.4	36.9	1.3	13.4	2.5	32.0	4.1	0.5	0.2	2.7	2.4	4,329	70	106	1,596	57	580	109	1,384	178	20	9	118	102	
	苦しかった 計	100.0	3.1	3.0	43.6	1.4	13.7	2.8	24.2	2.4	0.7	0.3	2.8	2.2	1,799	55	54	784	25	246	50	436	43	12	5	50	39	
	少し苦しかった	100.0	2.7	2.9	42.1	1.4	13.5	2.9	26.9	2.6	0.5	0.2	2.6	1.7	1,292	35	37	544	18	175	37	347	34	7	3	33	22	
	とても苦しかった	100.0	3.9	3.4	47.3	1.4	14.0	2.6	17.6	1.8	1.0	0.4	3.4	3.4	507	20	17	240	7	71	13	89	9	5	2	17	17	
	無回答	100.0	-	4.5	-	0.9	-	3.6	-	-	-	-	-	-	110	-	-	5	-	1	-	4	-	-	-	-	-	90.9
	世帯区分2	100.0	5.4	4.2	29.6	1.5	8.2	2.1	7.6	0.5	0.2	0.6	21.5	18.5	864	47	36	256	13	71	18	66	4	2	5	5	186	160
	ゆとりがあった・ふつう 計	100.0	5.7	3.9	30.2	1.7	8.1	2.0	7.6	0.7	0.2	0.6	22.2	17.0	540	31	21	163	9	44	11	41	4	1	3	120	92	
	苦しかった 計	100.0	5.2	4.9	29.9	1.3	8.8	2.3	8.1	-	0.3	0.6	21.1	17.5	308	16	15	92	4	27	7	25	-	1	2	65	54	
	少し苦しかった	100.0	3.2	4.2	31.7	1.6	9.5	1.6	11.1	-	0.5	0.5	19.6	16.4	189	6	8	60	3	18	3	21	-	1	1	37	31	
	とても苦しかった	100.0	8.4	5.9	26.9	0.8	7.6	3.4	3.4	-	-	0.8	23.5	19.3	119	10	7	32	1	9	4	4	-	-	1	28	23	
	無回答	100.0	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	87.5	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
	無回答	100.0	2.0	3.6	38.0	0.8	11.2	2.1	23.4	2.3	0.1	1.9	5.1	9.4	841	17	30	320	7	94	18	197	19	1	16	43	79	

(2) 母親

保護者の15歳の頃の暮らし向きが「少し苦しかった・とても苦しかった」と答えた保護者について、世帯区分2に比べ、世帯区分1は母親の最終学歴が大学等の高等教育機関卒業の割合が高い。

上段：構成比% 下段：件数		サンプル数	中学校卒業	高等学校中途退学	高等学校卒業	学校等中途退学・専門	高等専・短大・専門	大学中途退学	大学卒業	大学院修了	卒業 その他の教育機関	答えたくない・わからない	母親はいない	無回答		
小学5年生の保護者	全体	100.0 8,779	1.3 113	2.6 227	32.6 2,863	2.7 234	40.3 3,542	0.6 50	14.5 1,273	0.7 65	0.6 50	0.4 36	0.4 35	3.3 291		
	世帯区分1	全体	100.0 6,905	0.8 53	2.1 144	31.0 2,140	2.5 172	42.2 2,913	0.5 36	16.1 1,110	0.9 59	0.6 38	0.2 16	0.5 32	2.8 192	
		ゆとりがあった・ふつう計	100.0 4,815	0.4 17	1.2 60	27.3 1,316	2.4 117	46.6 2,244	0.5 22	18.5 892	0.9 43	0.6 27	0.2 8	0.3 16	1.1 53	
		苦しかった計	100.0 1,967	1.8 36	4.3 84	41.6 819	2.8 55	33.9 666	0.7 14	11.0 217	0.8 15	0.6 11	0.4 8	0.8 16	1.3 26	
		少し苦しかった	100.0 1,419	1.1 16	3.1 44	40.5 575	2.5 36	35.9 510	0.6 9	12.3 174	0.8 12	0.6 9	0.4 6	0.6 9	1.3 19	
		とても苦しかった	100.0 548	3.6 20	7.3 40	44.5 244	3.5 19	28.5 156	0.9 5	7.8 43	0.5 3	0.4 2	0.4 2	1.3 7	1.3 7	
		無回答	100.0 123	- -	- -	4.1 5	- -	2.4 3	- -	0.8 1	0.8 1	- -	- -	- -	- -	91.9 113
		世帯区分2	100.0 960	4.6 44	6.1 59	41.9 402	3.8 36	29.7 285	0.9 9	6.7 64	0.2 2	0.7 7	0.6 6	0.2 2	4.6 44	
	ゆとりがあった・ふつう計	100.0 609	2.6 16	4.8 29	41.2 251	3.4 21	33.3 203	1.5 9	7.9 48	0.2 1	0.7 4	0.5 3	0.3 2	3.6 22		
	苦しかった計	100.0 334	8.1 27	9.0 30	44.6 149	4.5 15	23.7 79	- -	4.8 16	0.3 1	0.9 3	0.9 3	- -	3.3 11		
	少し苦しかった	100.0 216	3.7 8	7.9 17	46.3 100	5.1 11	25.9 56	- -	5.1 11	0.5 1	1.4 3	0.9 2	- -	3.2 7		
	とても苦しかった	100.0 118	16.1 19	11.0 13	41.5 49	3.4 4	19.5 23	- -	4.2 5	- -	- -	0.8 1	- -	3.4 4		
	無回答	100.0 17	5.9 1	- -	11.8 2	- -	17.6 3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	64.7 11		
	無回答	100.0 914	1.8 16	2.6 24	35.1 321	2.8 26	37.6 344	0.5 5	10.8 99	0.4 4	0.5 5	1.5 14	0.1 1	6.0 55		
	中学2年生の保護者	全体	100.0 7,943	1.2 98	2.4 193	35.8 2,840	2.0 160	39.3 3,122	0.4 32	13.1 1,038	0.6 46	0.4 31	0.4 32	0.5 41	3.9 310	
		世帯区分1	全体	100.0 6,238	0.8 51	1.9 118	34.1 2,126	1.8 113	41.4 2,584	0.3 21	14.7 917	0.6 39	0.4 25	0.3 16	0.4 28	3.2 200
ゆとりがあった・ふつう計			100.0 4,329	0.5 23	1.2 54	30.6 1,325	1.9 81	45.6 1,974	0.3 15	16.7 721	0.6 27	0.3 13	0.3 11	0.4 17	1.6 68	
苦しかった計			100.0 1,799	1.6 28	3.6 64	44.4 799	1.7 31	33.6 605	0.3 6	10.8 194	0.7 12	0.7 12	0.3 5	0.6 11	1.8 32	
少し苦しかった			100.0 1,292	1.1 14	2.5 32	42.9 554	1.6 21	35.7 461	0.3 4	12.4 160	0.6 8	0.8 10	0.3 4	0.4 5	1.5 19	
とても苦しかった			100.0 507	2.8 14	6.3 32	48.3 245	2.0 10	28.4 144	0.4 2	6.7 34	0.8 4	0.4 2	0.2 1	1.2 6	2.6 13	
無回答			100.0 110	- -	- -	1.8 2	0.9 1	4.5 5	- -	1.8 2	- -	- -	- -	- -	90.9 100	
世帯区分2			100.0 864	4.1 35	6.4 55	45.8 396	3.1 27	28.2 244	0.8 7	3.9 34	0.2 2	0.5 4	0.3 3	0.9 8	5.7 49	
ゆとりがあった・ふつう計		100.0 540	2.8 15	4.6 25	43.0 232	4.1 22	32.2 174	1.1 6	5.4 29	0.2 1	0.6 3	0.2 1	0.9 5	5.0 27		
苦しかった計		100.0 308	6.5 20	9.4 29	52.9 163	1.6 5	22.7 70	0.3 1	1.6 5	0.3 1	0.3 1	0.6 2	1.0 3	2.6 8		
少し苦しかった		100.0 189	3.2 6	7.4 14	54.0 102	1.1 2	26.5 50	0.5 1	2.1 4	0.5 1	0.5 1	0.5 1	1.1 2	2.6 5		
とても苦しかった		100.0 119	11.8 14	12.6 15	51.3 61	2.5 3	16.8 20	- -	0.8 1	- -	- -	0.8 1	0.8 1	2.5 3		
無回答		100.0 16	- -	6.3 1	6.3 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	87.5 14		
無回答		100.0 841	1.4 12	2.4 20	37.8 318	2.4 20	35.0 294	0.5 4	10.3 87	0.6 5	0.2 2	1.5 13	0.6 5	7.3 61		

6. 朝食摂取と授業の理解度の関係

子ども問 24：あなたは、学校の授業がわからないと思うことがありますか。
 子ども問 6：あなたは朝ごはんを週にどれくらい食べていますか。果物やヨーグルトなど何か食べ物を口に入れば、ごはんを食べたとして答えてください。

朝食をほとんど食べない又は週1～2日しか食べない子どもは、毎日食べる子どもに比べ、学校の授業がわからないと思うことが「よくある」と回答した割合が高い。

	小学5年生						中学2年生						
	サンプル数	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答	サンプル数	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答	
全体	100.0 9,139	10.0 910	32.4 2,961	40.3 3,683	14.0 1,283	3.3 302	100.0 8,405	16.6 1,399	39.1 3,289	33.5 2,817	8.6 723	2.1 177	
朝食摂取別	毎日	100.0 7,993	8.8 707	31.4 2,511	41.7 3,337	14.8 1,186	3.2 252	100.0 6,930	14.6 1,010	38.8 2,688	35.3 2,448	9.2 640	2.1 144
	週5～6日	100.0 544	14.2 77	36.4 198	35.5 193	10.8 59	3.1 17	100.0 666	19.5 130	44.0 293	29.4 196	5.6 37	1.5 10
	週3～4日	100.0 254	19.7 50	45.3 115	22.4 57	7.1 18	5.5 14	100.0 283	25.4 72	41.3 117	23.7 67	6.0 17	3.5 10
	週1～2日	100.0 116	15.5 18	45.7 53	31.0 36	6.0 7	1.7 2	100.0 183	31.1 57	37.7 69	24.0 44	4.4 8	2.7 5
	ほとんど食べない	100.0 210	27.1 57	36.2 76	26.2 55	3.3 7	7.1 15	100.0 337	38.6 130	35.6 120	18.1 61	5.6 19	2.1 7
	無回答	100.0 22	4.5 1	36.4 8	22.7 5	27.3 6	9.1 2	100.0 6	- -	33.3 2	16.7 1	33.3 2	16.7 1

V. 考察

子どもの貧困対策における効果的な支援のあり方を検討するため、子どもの生活実態や学習環境、意識等を把握するとともに、世帯の経済状況や保護者の子どもとの関わり方、意識等を調査した結果、以下の5つの視点から考察を行った。

1. 子どもの生活環境

子どもの生活習慣については、朝食をとる頻度（子ども問 6）や入浴の頻度（子ども問 10）、歯みがきの習慣（子ども問 9）について質問している。

朝食をとる頻度が「毎日」と回答した小学5年の子どもの割合は、全体は 87.5%だが、世帯区分 2 で 80.4%、困難世帯で 76.2%と大きな差が生じている。

入浴（シャワーだけを含む）の頻度が「毎日」と回答した小学5年の子どもの割合は、全体では 93.7%だが、世帯区分 2 で 87.9%、困難世帯で 89.1%となっている。

歯みがきの習慣（問 9）についても、「ほとんどしない」と回答した小学5年の子どもの割合は、世帯区分 2 と困難世帯は世帯区分 1 と非困難世帯の 2 倍以上となっている。（小5：世帯区分 1 1.3%、世帯区分 2 3.0%、困難世帯 3.5%、非困難世帯 1.2%）

また、子どもと十分会話する時間を取れていると思わない保護者の割合（保護者問 20）や子どもだけで夜間に留守番させることがある保護者の割合（保護者問 22⑦）は、世帯区分 2 と困難世帯で高いことから、経済的に苦しい世帯では、保護者が子どもに十分関わることができず、子どもの清潔保持や生活習慣に差が生じていることが推察される。

さらに、学校の授業の理解度（子ども問 24）と朝食をとる頻度（子ども問 6）の関係をみると、朝食を「ほとんど食べない」と回答した子どもは、毎日食べる子どもに比べて学校の授業がわからないと思うことが「よくある」と回答した割合が高い傾向が見られる。（P212）

これらの調査結果からは、世帯の収入や家族形態といった家庭環境が子どもの生活習慣や学力に影響を与えることがうかがえる。

2. 子どもの教育

子どもの教育環境については、授業の理解度（子ども問 24）や学習の習い事（保護者問 19）、学習環境（子ども問 15②④）について質問している。

学校の授業の理解度（子ども問 24）について、「学校の授業がわからないと思うことがよくある」と回答した子ども（中2）の割合は、全体では 16.6%だが、世帯区分 2 と困難世帯では、20%を超えている。

塾や家庭教師等の学習の習い事（保護者問 19）については、世帯区分 1 と非困難世帯では半数以上が習い事をしており、世帯区分 2 と困難世帯に比べて、学校以外の学習機会が多いことがうかがえる。特に中学2年生では、その差が大きくなっている。

また、子どもが将来希望する進路（子ども問 27）は、世帯区分 1 と非困難世帯では「大学」の割合が最も高く、世帯区分 2 と困難世帯では「高等学校」の割合が最も高くなっている。

さらに、将来希望する進路の選択理由（子ども問 28）を「自分の学力から考えて」と回答した割合は、小学5年生では世帯収入で差がほとんどなかったが、中学2年生では世帯区分 2 と困難世帯

では、高くなっている。

また、「家庭に経済的余裕がないから」と回答した割合を見ると区分2や困難世帯で高くなっている。

これらの調査結果からは、世帯の収入により子どもの学習機会や学力に差が生じ、それが将来の進路選択まで影響を与えていることがうかがえる。

3. 子どもの精神面

子どもの自己肯定感や意欲、将来の夢については、自分に良いところがあると思うか（子ども問32）や勉強やスポーツ、特技などを頑張りたいと思うか（子ども問30）、将来の夢や希望、目標があるか（子ども問29）について質問している。

自分に良いところがあると「思わない」と回答した小学5年生の子どもの割合は、全体では7.8%で、世帯区分2と困難世帯では全体に比べて高くなっている。

（小5：世帯区分1 7.0%、世帯区分2 11.0%、困難世帯 10.6%、非困難世帯 7.1%）

また、中学2年生では、世帯の収入や世帯形態に関係なく、自分に良いところがあると「思わない」と回答した割合が高くなる傾向がみられた。

（中2：世帯区分1 8.2%、世帯区分2 8.9%、困難世帯 10.6%、非困難世帯 8.1%）

勉強やスポーツ、特技などを頑張りたいと「思わない」と回答した小学5年生の子どもの割合は、全体では3.1%だったが、世帯区分2と困難世帯では全体に比べて高くなっていた。

（小5：世帯区分1 2.7%、世帯区分2 5.3%、困難世帯 5.5%、非困難世帯 2.7%）

一方、夢や希望、目標を「持っている」と回答した子どもの割合は、世帯収入や家族形態による差はほとんどなかった。

（小5：世帯区分1 77.0%、世帯区分2 74.3%、ひとり親世帯 75.2%、非ひとり親世帯 76.7%、困難世帯 74.6%、非困難世帯 76.7%）（中2：世帯区分1 59.9%、世帯区分2 61.1%、ひとり親世帯 60.7%、非ひとり親世帯 59.9%、困難世帯 62.0%、非困難世帯 59.7%）

これらの調査結果からは、世帯の収入や家族形態により、子どもの意欲やチャレンジ精神、自己肯定感において差が生じていることがうかがえる。

4. 世帯の経済状況

ひとり親世帯については、世帯区分2の割合が35%以上で、非ひとり親世帯に比べて高くなっている。（小5：ひとり親世帯 35.9%、非ひとり親世帯 5.7%）（中2：ひとり親世帯 35.5%、非ひとり親世帯 5.3%）（P204）

親の最終学歴（問28）については、世帯区分2と困難世帯、ひとり親世帯で、母親・父親ともに「大学」などの割合が低くなっており、世帯の収入や家族形態により保護者の学歴に差が見られる。

現在の暮らしの状況（問13）について、「大変苦しい」又は「やや苦しい」と感じている中学2年生の保護者の割合は、全体では41.9%であるが、困難世帯では9割以上に上る。（世帯区分1 37.3%、世帯区分2 80.9%、困難世帯 93.1%、非困難世帯 33.7%）また、過去3年間の貯蓄の仕方（問14）としては、「貯蓄を取り崩している」と回答した中学2年生の保護者は、全体では6.9%だが、世帯区分2では13.3%、困難世帯では16.1%と差が大きくなっている。（世帯区分1 6.2%、世帯区分2 13.3%、困難世帯 16.1%、非困難世帯 5.4%）

直近1年間における経済的理由による経験（問16）については、「電気、ガス、水道などが止められた」と回答した中学2年生の保護者の割合が、全体では1.3%であるが、ひとり親世帯で3.5%、世帯区分2で5.7%、困難世帯では9.1%となっている（世帯区分1 0.8%、世帯区分2 5.7%、困難世帯 9.1%、非困難世帯 0.1%）。「給食費や教材費を学校に払えなかった」と回答した中学2年生の保護者の割合は、全体では2.8%であるが、ひとり親世帯で6.1%、世帯区分2で10.0%、困難世帯では20.1%となっている（世帯区分1 1.9%、世帯区分2 10.0%、困難世帯 20.1%、非困難世帯 0.1%）。

さらに、貧困の連鎖について、保護者が15歳の頃の家庭の暮らし向き（保護者問29）と保護者が15歳の頃の家庭で生活保護を受けていたか（保護者問30）について質問している。

保護者が15歳の頃の家庭の暮らし向きが「とても苦しかった」と回答した保護者の割合は、世帯区分2と困難世帯で高くなっている。（小5：世帯区分1 7.9%、世帯区分2 12.3%、困難世帯 19.8%、非困難世帯 6.9%）（中2：世帯区分1 8.1%、世帯区分2 13.8%、困難世帯 21.7%、非困難世帯 6.6%）

また、保護者が15歳の頃の家庭で生活保護を「受けていた」と回答した保護者についても、世帯区分2と困難世帯で高くなっている。（小5：世帯区分1 0.9%、世帯区分2 1.8%、困難世帯 2.1%、非困難世帯 0.9%）（中2：世帯区分1 1.1%、世帯区分2 2.7%、困難世帯 3.0%、非困難世帯 1.0%）

これらの調査結果からは、貧困が世代を超えて連鎖している可能性が考えられる。

5. 保護者の状況及び支援制度の認知

保護者の精神状態（問34）について、1ヶ月以内の間に「絶望的だと感じたことがある」「何をするのも面倒だと感じたことがある」「自分は価値のない人間だと感じたことがある」頻度について質問している。

絶望的だと感じたことが「いつも」と回答した中学2年生の保護者は、全体では1.4%であったが、世帯区分2で3.9%、困難世帯では5.6%となっている。（中2：世帯区分1 1.0%、世帯区分2 3.9%、困難世帯 5.6%、非困難世帯 0.7%）

何をするのも面倒だと感じたことが「いつも」と回答した中学2年生の保護者は、全体で3.9%に対して、世帯区分2で7.5%、困難世帯では11.5%となっている。（中2：世帯区分1 3.3%、世帯区分2 7.5%、困難世帯 11.5%、非困難世帯 2.7%）

また、子育てをする上で困った時の相談相手（問33）については、ほとんどの保護者に相談相手がいるが、「相談できる相手はいない」と回答した中学2年生の保護者は、全体で1.1%だったのに対し、ひとり親世帯で3.8%、困難世帯で3.7%と高くなっている。

これらの調査結果から、子どもの貧困対策として、経済的な支援だけでなく、保護者への精神的な支援を行う必要があると推察される。

一方、手当や援助についての保護者の認知度（問39）については、制度の対象となりうる世帯区分2や困難世帯、ひとり親世帯において「制度を知らない」という回答が一定数存在している。すぐに利用可能だと思われる学用品や給食費などを援助する「就学援助費」については、全体では「利用している・利用したことがある」「利用したことはないが知っている」と回答した中学2年生の保護者の割合が81.9%、「制度を知らない」の割合が11.0%であるが、世帯区分2では3.8%、困難世帯では8.9%が「制度を知らない」と回答している。「高等学校等就学支援金」についても、中学

2年生の保護者全体では、「利用している・利用したことがある」「利用したことはないが知っている」の割合が75.8%、「制度を知らない」と回答した割合が16.5%であるが、世帯区分2で20.4%、困難世帯で22.2%が「制度を知らない」と回答している。

また、ひとり親世帯のための制度である「児童扶養手当」については、中学2年生の保護者全体では「利用している・利用したことがある」「利用したことはないが知っている」の割合が74.2%、「制度を知らない」が17.3%であるが、ひとり親世帯でも5.9%が「制度を知らない」と回答している。

さらに、子どもに関する施策の収集方法（問41）については、世帯の収入や家族形態に関わらず、「学校からのお願い」という回答が最も多かった。「行政機関の広報誌」から情報を収集するという小学5年生の保護者の回答は、全体で39.2%であったが、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯では約30%となっている。

これらの調査結果からは、支援制度を知らない世帯が一定数存在しており、利用可能な制度があるにも関わらず利用まで至っていない世帯がいることが推察され、様々な支援制度の周知を進め、利用を促す必要があることが課題であると考えられる。

6. アドバイザーによる考察

本調査は、大分県内の小学5年生と中学2年生のすべての児童生徒及びその保護者を対象に実施された、家庭の経済状況と子どもの生活や学習等との関係に関する初めての全県的な調査である。これほどの大規模な調査データが得られた意義は大きく、これにより、大分県の子どもの貧困の実態や課題を明確化し、政策に反映することが期待される。また、本調査の項目は経済状況のみならず、子どもの生活習慣や保護者の精神状態、各制度の認知度など広範囲に及んでいる。このため、さまざまな視角から分析することが可能であるし、今後、総合的な考察が行われるであろうが、今回は特に「教育に関する格差」と「社会的に孤立した保護者に対する介入」の2点に焦点を絞って考察を展開したい。

（1）教育に関する格差

本調査の結果は、保護者の収入によって、子どもの学習状況に差が生じていることを示唆している。たとえば、小学5年生の調査をみると、学校の授業がわからないと思うことが「よくある」「ときどきある」と答えた子どもは、世帯区分1が合計で40.7%なのに対し、世帯区分2は51.6%であり、10ポイント差がみられる。中学2年生の調査結果も、世帯区分1が53.8%、世帯区分2が65.4%と、やはり10ポイント以上の差となっている。

こうした傾向の一因になっていると考えられるのが、教育環境の格差である。保護者に対する調査をみると、学習塾に通っている子どもの割合は、小学5年生では、世帯区分1が22.2%なのに対し、世帯区分2は13.0%となっている。より学年が上がる中学2年生になると、全体的に学習塾へ通う子どもの割合が高くなるが、世帯区分1が41.2%、世帯区分2は24.7%と、両者の差は15ポイント以上に広がっている。世帯区分2では、経済的な理由で塾や習いごと子どもを通わせることができなかった保護者が多いという結果を踏まえると、通塾率の差は、保護者の教育方針や子ども自身の意向というより、その世帯に子どもを塾に通わせるだけの経済的な余裕があるか否かによって影響を受けていると考えられる。

また、自宅で学習する環境も、保護者の収入によって差が生じていた。たとえば、小学5年生の

調査では、子ども部屋を持っている者の割合が、世帯区分1（77.6%）と世帯区分2（64.9%）で異なっている。また、自分専用の勉強机も、世帯区分1（78.9%）に比べ、世帯区分2（67.7%）は、所有率が10ポイント以上低くなっている。これらの調査結果も、子どもの学習状況が、単にその子の能力や意欲のみを反映したものでなく、保護者の収入の影響を受けていることを示唆している。

さらに、保護者の収入は、現段階での子どもの学習状況だけでなく、将来の進路志望にも影響していた。このことは、大学以上への進学を希望している子どもの割合に顕著に現れている。小学5年生の調査結果をみると、大学以上への進学を希望している子どもは、世帯区分1が39.5%なのに対し、世帯区分2が27.4%にとどまっている。このように、すでに小学5年生の時点で12ポイントもの差が生じていることは、論者にとって少なからず驚きであった。こうした傾向は中学2年生の調査結果でさらに顕著に出ており、世帯区分1が45.9%、世帯区分2が22.9%と、その差は23ポイントにまで開いている。

もちろん、どのような進路を選択するかは子ども自身が決めるべきであるし、また、すべての者が大学へ進学する必要もないだろう。誤解のないように強調しておきたいが、筆者がここで問題にしたいのは、収入の違いによって将来の進路志望に差が生じていることである。親の経済状況が原因で塾へ行けず、あるいは自宅の学習環境が整っていないため、結果として子どもが学習意欲を失ったり、進学を断念したりするようなことがあれば、それはその子どもにとって機会の喪失であると同時に、社会全体の損失にもなる。さらに言えば、最終学歴と収入が相関するという客観的事実を踏まえると、保護者の収入によって子どもの進路志望が影響を受けているという本調査の結果は、「貧困の連鎖」につながりかねないのではないかと懸念も抱かせる。

とはいえ、実際の地域に目を転じると、こうした問題関心にに基づき、子どもの学習支援を目的とするさまざまな施策や実践がすでに行われている。その中には、子ども食堂における学習支援など、民間の自発的な活動も少なくない。こうした公私にわたる活動の広がりにより、希望を見いだすことは可能だろう。学習支援の効果は、ある程度長期的な時間のなかで生起するものであると考えられるため、今後も同様の調査を継続的に行い、全体的な傾向を把握するとともに、どのような取組がどのような効果を生んでいるのかを分析していくことが求められる。

（2）社会的に孤立した保護者に対する介入

国内外の研究において、経済的に困窮している者ほど孤立状態になりやすいことが指摘されている。今回の保護者用調査票の項目のうち、社会的孤立に関連するのは、他者と交流する頻度（問30）、および子育ての困りごとを相談する相手（問33）の2つである。調査結果を見る限り、前者については、収入との間に明確な差はないと考えられる。一方、後者は、子育ての困りごとを「相談できる相手はいない」と答えた人の割合が、世帯区分2や経済的困難世帯では相対的に多く、所得との相関を示唆する結果となっている。これらのことから、経済的に困窮している保護者は、それ以外の保護者と同じ程度に他者と交流しているものの、そうした関わりの中から引き出せるサポートは相対的に少ない傾向にあると考えられる。

このように、頼れる相手を持たない保護者が社会の中で孤立しないためには、何よりもまず社会の側がその世帯の状況に気づくことが求められるが、本調査の結果は、各種の滞納がその「サイン」になる可能性を示している。なぜなら、経済的に困窮している世帯は、さまざまな支払いを滞納している傾向が浮かび上がってきたためである。調査票（保護者用）の問16をみると、世帯区分2

のうち、小学5年生では21.7%、中学2年生では23.3%の保護者が、過去1年間に税金が払えなかったと回答している。また、世帯区分2のうち、小学5年生の16.9%、中学2年生の17.4%の保護者が家賃やローンの支払いが滞った経験があり、また、小学5年生の5.2%、中学2年生の5.7%の保護者がライフライン（電気・ガス・水道）を止められていたことがある。給食費や教材費を学校に支払えなかった保護者も、小学5年生で10.3%、中学2年生で10.0%と少なくない。これらは、いずれも経済的な理由によって生じたものであり、支払いを失念していたケースなどは含まれない。さらに、いずれのデータも過去1年間という限られた期間における経験に過ぎないため、これまでに滞納を経験した保護者はさらに増えると推測しなければならない。つまり、経済的に困窮している子育て世帯の多くが、何らかの滞納を経験していると考えられるのである。

滞納という現象にだけ着目すれば、追納された時点で問題は解消されたと理解される。しかし、一時的にでも税金や光熱費等を滞納するほどの困窮に陥った世帯は、生活基盤そのものが脆弱であると考えられるため、すでに別の問題を抱えている可能性もあるし、今後、新たな問題を抱える可能性もあると考えられる。経済的に困窮している者ほど孤立状態になりやすいことを改めて想起すると、「滞納」というサインを一元的に集約し、関係者間で共有することができれば、困窮する子育て世帯の存在をより確実に把握することが可能になる。このため、たとえば、行政内部の部局を横断した連携体制を構築することにより、こうした情報が生活困窮者支援や子育て支援の所管課に共有されることが重要になる。また、電気やガス、民間賃貸住宅の家賃など、滞納の情報は民間事業者にも蓄積されている。もちろん、個人情報保護の要請もあるため、公私にわたる連携体制を構築することはたやすいことではない。しかし、社会的孤立が長期化すると、さまざまな問題の温床となることを考えると、それを未然に防いだり、早期に把握したりすることの意義はきわめて大きい。言い換えれば、生活困窮者支援の観点からは、さまざまな「滞納」の情報を生活困窮のサインと捉え、そうした子育て世帯の生活実態を把握し、必要に応じて支援につなげるための体制を確保することが、保護者の社会的孤立を予防・解消するための一つの方法になる可能性に着目する必要があるのではないだろうか。